

令和2年度学校関係者評価  
専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科

<開催日時> 令和3年3月22日 13:30-15:30
令和2年度学校関係者評価委員
■保護者 北村 亜希子 様
■企業関係者 浦島メディカルクリニック 牧野 寛 様
■他校関係者 専門学校社会医学技術学院 小宮山 一樹 様

1. 教育理念・目標	
【自己評価結果】	平均
1 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4 組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】	
学生にクレドを読ませる機会をつくるなど工夫があっても良いかと思われる。	
【改善のための方策】	
年度初めに、クラス目標とともに担任より教育理念や教育目標についての話をする。 学生にクレドを唱和させる機会を設ける。	
【関係者評価】	
「教育理念・目標」の項目:理念・目標の浸透という項目で3点台が出ている。教員は朝礼ごとに持ち回りでクレドを唱和し確認しているが、学生への浸透が不十分である。年度初めにクラス目標とともに理念・目標についての話をする、学生にクレドを唱和させる機会を設けるなど検討している(大石)高校を卒業して、徐々に尖った態度をとる時期に入る子供もいる。親の声はなかなか届きにくい時期なので、学校でクレドに記載されているようなことを教えてもらえるのはありがたい。(北村)	

2. 学校運営	
【自己評価結果】	平均
5 目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8 就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9 組織内の連携は適切に図られているか。	A
10 上司の指示は適切にされているか	A
11 上司は提案を受け入れてくれているか	A
12 職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13 BSGIは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】	
特に問題はないと思われる。	
【改善のための方策】	
新入職教員にもGoogle機能の活用を促し、情報伝達の強化、業務効率化を図る。 (クラスルーム、カレンダー、ドライブ、ハングアウトなど) 新入職教員のメンター制度を実施する。	
【関係者評価】	
「学校運営」の項目:今年度は3点台がなかった。教員・学生ともにGoogleを活用することで、確実な報・連・相、ペーパーの削減など業務効率を図っている。また、新入職員のメンター制度を実施している。(大石)	

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
コロナ禍であったが特に問題はないと思われる。新入教員が増えているので今後も評価が下がらないように努力していく必要がある。		
【改善のための方策】		
カリキュラムマップ、カリキュラムツリーの作成を行う。 科目会議を定期的実施。 シラバス検討会議の実施。 教育行事の準備は滞りの無いよう、スケジューリングをする。		
【関係者評価】		
「教育活動」の項目:シラバスの見直しの項目がやや低い点数であるため、年度末にシラバス検討会議を複数回に渡り行った。(大石)シラバス検討はなかなかできないが、全体を見渡したなかで修正をかけるのは必要なことだと思う。本校ではカリキュラムマップを使用し、1年次のリハビリテーション概論で『今自分がどこにいるのか』を学生に自覚させる取り組みをしている。(小宮山)実習生を受け入れる側として学生の知識的な弱点を感じることもある。それが学生側の問題なのか、教育の問題なのか分りかねる部分がある。そのような学生に教科書に載っていないことまで教えていいものか悩むことしばしばである。国試は確かに重要なイベントではあるが、その前に実習があり、学生のレベルをどこに設定するのか実習が終わるごとに見直す機会があっても良いのではないかとと思う。(牧野)		
4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。改善の効果が現れている。		
【改善のための方策】		
退学者対策は効果が出ているが、細やかな学生対応ができるよう注意していく。		
【関係者評価】		
「学修成果」の項目:退学者対策は効果が出ているため維持していきたい。低学力者に対する個別対応など細やかな対応ができるよう注意していきたい。(大石)		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
年々改善されている。更に進めていきたい。		
【改善のための方策】		
今年度から各学年に応じたキャリアサポート(外部講師による)を実施している。 低学年から職業観を身につけさせていく。 防災教育を検討する。 学生相談やカウンセリングについても対応を再確認する。		
【関係者評価】		
「学生生活支援」の項目:メンタルヘルスに関しては専属のカウンセラーがいるため、学校側から紹介をする形式をとっている。防犯・防災についてはもう少し力を入れたいと考えている。(大石)		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】 整備を数年計画で検討していくようにし、予算に無理のないように整備を実施していく必要がある。		
【改善のための方策】 学校全体として整理整頓などの意識は低いため、学内の美化活動を強化したい。		
【関係者評価】 「教育環境」の項目:風紀と組み合わせる形で美化委員を立ち上げ、整理整頓・美化の強化を検討している。(大石)		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】 応募者が多く募集は順調であった。より改善に努めていきたい。		
【改善のための方策】 コロナ禍の影響で県内志願者の応募が大変多く、入試回数が少なくなってしまったため、来年度は指定校推薦の基準の見直しが必要。感染対策による人数制限で、Webも含めOCの回数がとても多く、業務負担が大きかった。		

【関係者評価】 「学生の受け入れ募集」の項目:コロナの影響が『県内志向』が強まり、令和2年度の入試は1回で締め切りとなった。オープンキャンパスはコロナ対策として参加人数を制限し実施した。その分実施回数を増やし、Web対応も行ったため職員への負担は大きくなってしまった。(大石)東京でも学生募集に関してはコロナの影響をそれほど感じなかった(小宮山)親世代の意見としてはオンラインでのオープンキャンパスには躊躇いがある。可能な限りこちらから足を運ぶような生の対応をしてほしいと希望している。(北村)この1年間で世間的にもデジタル化が進んだが、出来得る限り生の対応を大切にしていきたいと考えている。(大石)		
---	--	--

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】 特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】 退学率が減少し、在籍数が上昇しているため、継続していく。 予算については数年単位で計画していく。		
【関係者評価】 「財務」の項目:特に問題はなかったため現状維持を目指したい。(大石)		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】 個人情報保護とハラスメントについては新入教職員にも周知したい。		
【改善のための方策】 個人情報保護とハラスメントに関して、定期的な研修やチェックを実施していく。		
【関係者評価】 「法令等の遵守」の項目:個人情報保護やハラスメントに関しては委員会でも対応している。(大石)当校でも個人情報やハラスメントに関しては委員会対応である。年に2回、教員のみでハラスメント事例を考える機会を作っている。(小宮山)		